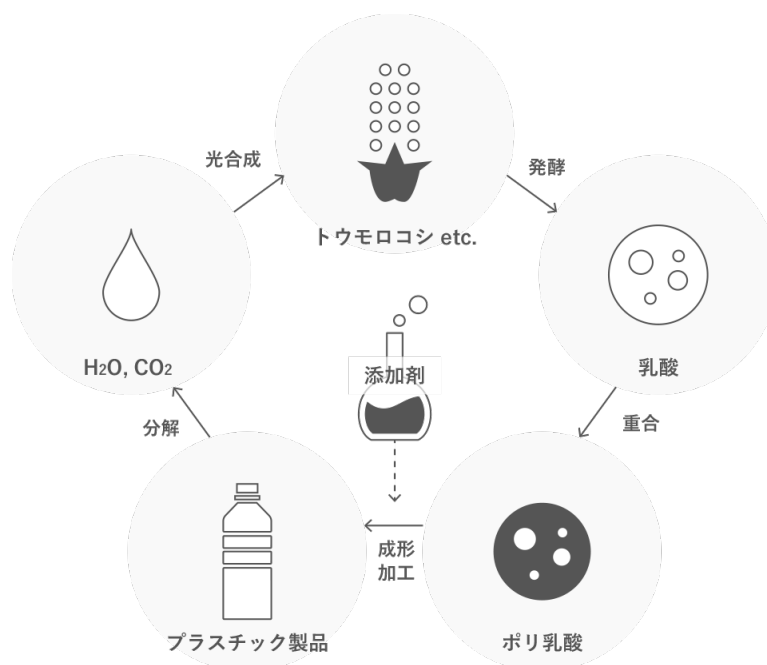


生分解性プラスチック PLA(ポリ乳酸)

What is the PLA



PLA(ポリ乳酸)とは、トウモロコシ、サトウキビ等のデンプンから作られる、石油由来のプラスチックに代わる存在として誕生したバイオプラスチックです。

生成中に二酸化炭素の排出量が少ないことや、土に埋めて生分解される素材として注目されてきました。

使用後は微生物によって水と二酸化炭素に分解され、再び植物の成長に使われます。

改質 PLA の特徴

- ・植物由来のプラスチックです。石油由来ではありません。
- ・食品等生産後の廃棄されるサトウキビ(食品産業廃棄物)を利用しています。
- ・原材料のサトウキビはCO₂を排出しないのでカーボンニュートラルな繊維です。
- ・耐久性に優れた合成繊維ですが、天然繊維のような生分解性があります。

商品名	規格	混用率	目付	幅×長さ
PLA6040 生分解性カバー地	綿 60s × PLA/キュフ [°] ラ 40s (サテン)	綿 50% ポリ乳酸 25% キュフ [°] ラ 25%	113g/ ㎡	162cm × 110m

ファッション業界の CO2 排出量は増加の一途を辿り、2030 年には世界で約 20 億 8 千万トンになると予測されています。

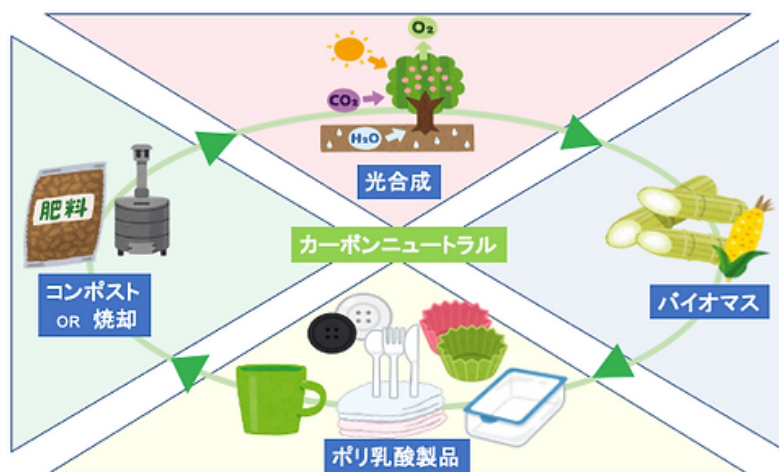
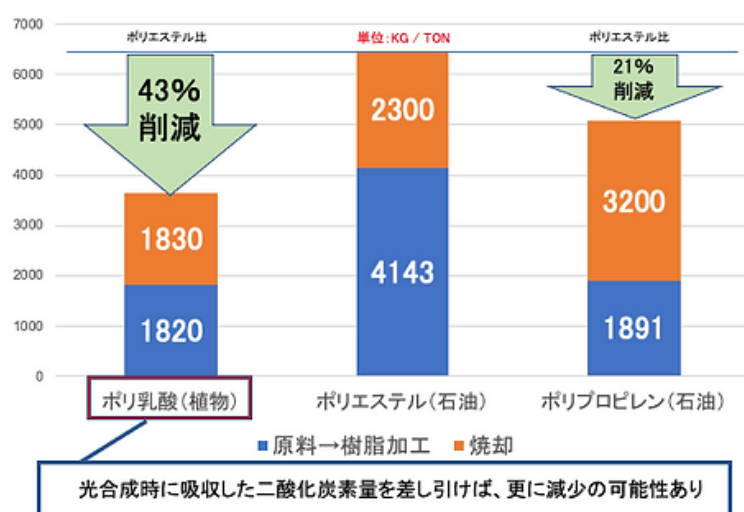
PLA (ポリ乳酸)繊維は、原材料はサトウキビであり、カーボンニュートラルのため CO2 を実質増やしません。

改質 PLA は耐熱性を向上させることで、耐久性や伸縮性も向上。

ポリエステルと同等以上の性能を実現しています。

機能性と環境性を備えた 100%植物由来の繊維で脱炭素社会に貢献していきます。

バイオマス＝カーボンニュートラル



生産するのも、焼却処分するのも CO2 排出されるのは同様ですが、ポリエステルに比べて CO2 排出量は約 43%少ない。

さらに PLA を作るためのサトウキビ栽培中に光合成をし CO2 を吸収。同量のサトウキビを栽培し続ける限り、実質的に CO2 を増やしません。森林よりも短サイクルで CO2 を循環させることが可能です